

→ 今年の御言葉：増殖

1. ヤコブの人生を通して7つのことを学びました。一年を通して実践しましょう。
2. 2019年祝福と増殖があるように信じて、告白して、祈り続けましょう。
3. 増殖の法則：与える賜物
4. 信仰の増殖：復活礼拝
5. 祈りの増殖：祈りのライフスタイル
6. 祈りの増殖#2 神の義のうえ湯き

→ イエス様が盛んになる、自分は衰える

ヨハネ 3:22 その後、イエスは弟子たちと、ユダヤの地に行き、彼らとともにそこに滞在して、バプテスマを授けておられた。23 一方ヨハネもサリムに近いアイノンでバプテスマを授けていた。そこには水が多かったからである。人々は次々にやって来て、バプテスマを受けていた。24 ——ヨハネは、まだ投獄されていなかったからである。—25 それで、ヨハネの弟子たちが、あるユダヤ人ときよめについて論議した。26 彼らはヨハネのところに来て言った。「先生。見てください。ヨルダンの向こう岸であなたといっしょにいて、あなたが証言なさったあの方が、バプテスマを授けておられます。そして、みなあの方のほうへ行きます。」27 ヨハネは答えて言った。「人は、天から与えられるのでなければ、何も受けることはできません。28 あなたがたこそ、『私はキリストではなく、その前に遣わされた者である。』と私が言ったことの証人です。29 花嫁を迎える者は花婿です。そこにおいて、花婿のことに耳を傾けているその友人は、花婿の声を聞いて大いに喜びます。それで、私もその喜びで満たされているのです。30 **あの方は盛んになり私は衰えなければなりません。**」

- ▶ イエス様と弟子たちが人々にバプテスマを授けておられた
- ▶ ヨハネとヨハネの弟子たちも人々にバプテスマを授けておられた
- ▶ ヨハネの弟子たちが、人々がイエス様の方に行くのでヨハネに報告にきた

→ ヨハネの答え「イエス様が盛んになる、自分が衰えていく」

「自分が誰であるかを知っていた」「救い主の前に悔い改めを説いて、道を整える者」

- ▶ ヨハネの弟子たちは、以前はヨハネに人気があってすべての人がヨハネの所に来たのに、今はみなイエス様の所に行くので、イエス様をねたんでいた。ヨハネの働きをも肉的にとらえていた。ヨハネは、神様の御心を知っていました。神様の御心はどこにあったのでしょうか。ヨハネが先に「道を整える者」として遣わされた
- ▶ イエス様が後に来られ「この世の罪を除く神の小羊」として遣わされた
- ▶ ヨハネの役割が終わり、出番がちいさくなっていき、イエス様の時代がやってきて栄えていく。

→ 「あなたは誰ですか？」

- ▶ 救われる前は神様を知らないで、肉のままに生きていて、神の怒りを受けるべき者

エペ 2:3 私たちもみな、かつては不従順の子らの中であって、自分の肉の欲の中に生き、肉と心の望むままを行ない、ほかの人たちと同じように、生まれながら御怒りを受けるべき子らでした。

- ▶ イエス様によって「救われた者」「神の作品」「イエス様の弟子」「神の子」

エペ 2:10 私たちは神の作品であって、良い行ないをするためにキリスト・イエスにあって造られたのです。神は、私たちが良い行ないに歩むように、その良い行ないをもあらかじめ備えてくださったのです。

イエス様を信じて、救われてからは、以前の自分と違います。神様の子とされ、神の家族に属する者。イエス様の弟子であり、しもべであり、神の作品、世の光、地の塩、キリストの花嫁

→ 「どのように変わるべきですか？」

- 救われる前：イエス様が全く、自分の肉だけの状態
- 救われた後：イエス様が自分の中に増えて行き、肉なる自分が減っていく

→ **パウロの変えられた人生**「イエス様ゼロからイエス様 100%の人生」

- 救われる前：熱心なユダヤ教徒、クリスチャンを迫害、律法に完全に従っていた。
- 救われた後：イエス様を伝道して投獄された；「過去はすべてちりあくた」

ピリピ 1:21 私にとっては、生きることはキリスト、死ぬこともまた益です。

ピリピ 3:5 私は八日目の割礼を受け、イスラエル民族に属し、ベニヤミンの分かれの者です。きつすいのヘブル人で、律法についてはパリサイ人、**6 その熱心は教会を迫害したほどで、律法による義についてならば非難されるところのない者です。**7 しかし、私にとって得であったこのようなものをみな、私はキリストのゆえに、損と思うようになりました。8 それどころか、私の主であるキリスト・イエスを知っていることのすばらしさのゆえに、いっさいのことを損と思っています。**私はキリストのためにすべてのものを捨てて、それらをちりあくたと思っています。**それは、私には、キリストを得、

→ 「生きることはキリスト」の人生

1 コリント 9:23 私はすべてのことを、福音のためにしています。それは、私も福音の恵みとともに受ける者となるためなのです。

→ イエス様の御心がどんどん私達の人生に増えて行くことが目標

- イエス様の一番の願いを知りましょう
- 1. イエス様はなぜこの世に来られましたか？
- 2. イエス様は、何のためにご自分の命をささげられましたか
- 3. イエス様は、信じる者達がどのように生きて欲しいと言われましたか

→ どのように実践するか？

- 貴方の行動の動機を知りましょう。自分の為ですか？イエス様の為ですか？
- 1. 貴方は、何のために礼拝していますか。
- 2. 貴方は、何のために献金していますか。
- 3. 貴方は、何のために奉仕していますか。
- 4. 貴方は、何のために祈っていますか。

→ 主の御心を知り、主の御心を実践できるように

1. 神様の御心をまず求めましょう
- 2 貴方の家族の救いの為に何ができるでしょうか。具体的に実践できることを祈りましょう
- 3 貴方の学校、職場の人々の救いの為に何ができるでしょうか。具体的に祈り求めましょう
4. 岩国、日本が救われるためには、私達は何ができるでしょうか。

あの方は盛んになり私は衰えなければなりません

応用

- ✓ 自分の肉の行動をチェックしてみましょう。
- ✓ 心が無い行動は、ただの宗教にすぎません。イエス様の心と共に行動するならば真の愛の行動となり人々に主の臨在をもたらします。【献金、賛美、奉仕、祈り、集会参加すること。】
- ✓ 御霊によって肉を殺して生きましょう。【ロマ 8:13 もし肉に従って生きるなら、あなたがたは死ぬのです。しかし、もし御霊によって、からだの行ないを殺すなら、あなたがたは生きるのです。】